

野田ロータリークラブ週報

第3110回例会 (3月4日)

第3102号 2024.3.11 発行



世界に希望を生み出そう

2023-24年度 ロータリーのテーマ 地区:「エンゲージメントを育もう」
野田:「育もう郷土の誇り」

■創立:昭和31年5月 ■例会日:毎週月曜日 PM12:30~13:30

例会場 事務局 野田商工会館内5F(樺のホール)

〒278-0035 野田市中野台168-1 TEL 04(7125)0061 FAX 04(7125)0055

会長:三浦 直哉

幹事:白鳥 智子

会長エレクト:古谷 光裕

副幹事:田中 秀和

副会長:中村 政道

発行責任者:鈴木 康夫

第3110回 例会

点 鐘 三浦 直哉 会長
司 会 川崎 貴志 SAA
ソング 君が代・奉仕の理想

会長挨拶 三浦 直哉 会長



皆さんこんにちは
昨日は桃の節句でしたが、
心なしか日差しが暖かく感じました。
もう春となって今月の中旬には、桜も咲く予報も報じられています。

今から花見は何時にしようか案じています。
さて、先週の土曜日の報告をします。
地区の理念委員会、情報・ラーニング委員会、RLI委員会の研修3委員会の合同で講演会があり千葉市まで行ってきました。
古谷会長エレクト、田中副幹事と同行させていただきました。
そこで発創デザイン研究室代表富永良史氏の講演を聞きました。

この方は京都大学教育学部教育心理学科を卒業されて今北陸大学教職員大学院の非常勤講師をなされている方です。

ロータリークラブとも関わりが深くRLIテキストの編集にも参加されているそうです。

お話は大変に上手で講演会と聞いて眠くならないかと心配していましたが無用な考えでした。

最近、社会の流れとしてトレーニングからラーニングに変化してきていることが言われています。

ロータリークラブに於いてもこの変化が起きています。

現在は情報が一瞬で広く伝わるITが進み今まで体験できなかった答えが見つからない時代となっています。

トレーニングとは、教師や優秀なリーダーに委ね訓練すれば良かったことです。今は、それが困難な時代です。それがリスクになる時代です。

ですから自発的な学習風土が必要です。

そこでラーニングが必要となってきました。

団体を構成する人々が話し合いをして意見を引き出してやらなければいけません。

そこでファシリテーターが必要になるのです。

ファシリテーターは話し合いの場における安心感を与え話し合いが深まるように誘導させなくてはならないのが役割です。

我々ロータリアンは社会のリーダーとして、この時代の変化を理解しファシリテーターの役割を認識することも重要であることを感じました

この感想と報告をもって会長挨拶とします。



◎御誕生祝い◎



茂木七郎治 会員（2月20日）

◎御結婚祝い◎



茂木七郎治 会員（3月2日）

【出席】今回分(3月4日)会員64名中50名出席(78.13%)

中野祐三郎 会員:清水公園だより花ファンタジアではミモザが咲き愛犬家の方々にぎわっています。早咲きの桜も仁王門周辺でほころび始めています。

◎誕生祝いありがとうございます。

茂木七郎治 会員

◎結婚祝いありがとうございます。

茂木七郎治 会員

早退 2名

委員会報告

青少年奉仕委員会

待山 弘 委員長



この度青少年奉仕委員会では年度活動計画にある地域諸団体協力としてNPO法人アースアズマザー千葉主催の野田市教育委員会後援、野田市こども食堂ネットワーク協力にて行う「弁当の日」の映画上映と安武信吾監督講演会に協力する事に致しました。本日其のチラシと共に協賛のお願いをさせていただいています。(3月24日(日)13:00~けやきのホール3F小ホールにて)弁当の日の映画は会員の観点から地元キッコーマンさんも応援プロジェクト企業になっています。どうぞよろしく願い致します。

ロータリー情報委員会

浅野 泰泉 委員長



今月3月は「水と衛生月間」です。来週の水の卓話のゲストの紹介です。テーマ「空と海 大地をつなぐ水循環と野田市の地下水」
・NPO日本地質汚染審査機構理事長高嶋洋・第一工科大学環境エンジニアリング学科教授・水制度改革議員連盟(代表上川陽子外務大臣)の下部組織である水循環基本法フォローアップ委員会地下水分科会副分科会長 専門は環境地質学・水文地質学

2015年版「今日からロータリアン」新入会員オリエンテーション用を教本にしました。三浦会長のご挨拶、栗林委員から会計について、岡安副委員長からロータリーの基本、浅野より野田ロータリークラブの組織の構成を50分間で学びました。

幹事報告

田中 秀和 副幹事

1)本日皆様にロータリーの友を配布致しました。3月は、「水と衛生月間」です。7ページの「トイレ、その先へ」24ページ2790地区「エンゲージメントを育む一年」34ページ「地域を挙げて鋸山を日本遺産へ」をご覧くださいRI事務局より「水と衛生月間リソースのご案内」が来ています。

2)2790地区事務局より「ガバナー月信」が来ています。「地区内より能登半島地震への支援金が900万円近く集まりました。皆様のご支援に心より感謝申し上げます」と鷗沢ガバナーが掲載されています。9ページにガバナー公式訪問の集合写真が載っております。

ニコニコボックス

茂木七郎治 会員:米寿祝有難う御座いました
茂木七郎治 会員:在籍40年間色々有難う御座いました
岡安 誠人 会員:(其の壱)此度、野田市観光協会の会長を拝命しました。今更ながら重責につぶされそうです。今後倍旧でよろしく願い致します。
岡安 誠人 会員:(其の弐)と云う事で皆様観光協会の会員になって下さい。こぞって御入会下さい。今後おひとりおひとりをお願いに参りますどうぞおつき合下さいませ。

- 3) RI事務局より「財団室NEWS」が来ています。
- 4) 一般社団法人比国育英会バギオ基金より「バギオだより」が来ています。
- 5) 2580地区より「第22回RI台湾囲碁大会案内状」配布のお願いが来ています。以上、2790地区のホームページを是非ご覧下さい。
最期に、本日例会後に理事会が開催されます。理事の方宜しく願います。

卓 話

岡田 真吾会員



野田ロータリークラブの会員である染谷康雄さんの会社、日本一フード株式会社がタイに新工場を建設されましたので、2月24日(土)～2月27日(火)まで研修視察に行っていました。参加者は日本一

の社長、染谷康雄さん、キノエネの社長、山下博之さん、野田ロータリークラブ会員の横川さん、小澤さん、杉浦君、私の計6名で参加してまいりました。

工場が建設されたのが、令和3年3月になり、コロナの影響で2年間工場の可動ができなかったようです。本当に2年間厳しかったと思いますが、昨年からようやく可動でき、工場としては順調に動き始めているとの事です。工場面積は15,409.2㎡2つの建物にわかれていて、生産棟が4,795㎡食堂が487㎡になり、現在の従業員は193名(全員タイ人)内月給スタッフ28名日給スタッフ165名となります。製品は冷凍鶏肉串の焼き鳥ももアスパラ串と焼き鳥手羽ニンニク串を作っており、加熱製品においてははまだ可動されておりませんので、製品に関しては近日公開予定となっております。現在の生産量は、1日4万串となっており、原料保管庫のチルドルームに36t冷凍室に4t製品保管庫の冷蔵庫に40t保管されております。

工場内に入らせていただくのですが、こんな衛生管理に厳しいとは思いませんでした。

まずは、衛生管理の徹底 その1

服装ですが、白の割烹着のような服を着用して、紙のメッシュの帽子をかぶり、その上に布の帽子をかぶります。そして、マスクを着用し、長靴をはきます。そして、ローラーにて服に付いている細かいゴミを取っていただき、最後に手を洗ってからビニール手袋を着用します。私は職業柄、安全管理の徹底は毎日厳しくされておりますが、食品関係ですと衛生管理の徹底が重要視されるのだと改めて感じました。

衛生管理の徹底 その2

手足を殺菌します。



衛生管理の徹底その3
風により目に見えないゴミやホコリを除去します。これで工場内に入れます。工場内には多くの社員やパートさんが働いておりました。日本一さんがタイに進出した理由の一つとしては人件費の削減だと思っておりますので、タイの平均的な時給、日給を調べてみました。タイでの人件費時給44バーツ日本円にすると1時間176円になり、日給ですと1日350バーツ日本円にすると1日1,400円になります。日本人一人雇用するのと、タイ人7人雇用するのでは同じくらいの金額になり、大きな人件費削減につながっていると思われれます。入荷から出荷までの工程を説明します。鶏肉、アスパラ、ニンニク等が入荷され、この食材をフォークリフトにてチルドルームに運んでいきます。アスパラや鶏肉も現地調達が実現し、こちらでも大きなコスト削減につながっていると思われれます。

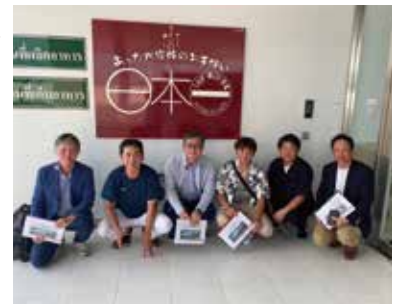
衛生管理の徹底その4

野菜等の洗浄時には次亜塩素酸水を使用しております。

衛生管理の徹底その5

DLDの規定により食品を別部屋へ移動させる場合、できる限り空気の流れを小さくするため、小窓を使用する事が義務付けられております。また、ゴミは食品と同じ部屋に置くと衛生上良くないので別部屋につながるダストボックスへ入れます。メインとなる作業が、串詰め作業になり、既定のグラム数にてアスパラと鶏肉、または、ニンニクと鶏肉を串に刺していきます。串詰めされた鶏肉串をベルトコンベアに載せると20分で冷凍されます。

最後に冷凍鶏肉串を真空パックにして、冷凍庫に保管され、順次、日本に輸送されます。現段階では全て日本に輸送されておりますが、今後は、タイランド工場を拠点として、アジア各国に販売店を持ち、こちらの工場から各国に出荷されていくと思われれます。続きまして、工場の外周を説明いたします。工場の敷地入口には警備員が順次おりますので、工場内の安全が保たれております。工場敷地内にサンブラームが祀られております。タイに行けばホテルの角やお店、会社などに祀られておりますので、必ず目にします。ネットで調べましたら、サンブラームは仏教とは全く別物で精霊を宿る祠と言われており、日本で言うと外神様みたいなものなのか、おそらく精霊に家内安全や商売繁盛を祈願するのだと思われれます。そして、会社には欠かせない食堂があります。こちらには豊富なメニュー





一の他、食品の自動販売機やアイスなども販売されており、スタッフには喜ばれていると思われまます。工場敷地内は大型車でもストレス無く敷地内を回れる広いスペースを確保されておりまます。最後になりますが、ジャスコノア店の第1店舗目からスタートした日本一さんが、今では300店舗まで拡大し、これからは、グローバル化として世界各国に日本の味を届けようとしている日本一さんの凄さに改めて感銘を受けました。染谷社長タイでは、視察だけではなく、ゴルフの手配、食事の手配など大変お世話になりました。本当にありがとうございました。以上で研修視察の報告を終わります。



米寿・入会40周年記念のお祝い
茂木七郎治会員

2023-2024年度野田RC理事会議事録		会長	三浦 直哉	開催日時	2024年3月4日	開催場所	樺のホール 5F	承認	否決	保留
議 題								承認	否決	保留
1.	2024年決議審議会決議案提出の件 ・前回からの継続議案 ・提出議案はありませんでした							○		
2.	100%例会について(鈴木貫太郎翁) ・会長より笹川氏と話を進めている旨の報告があった ・歴史の大局が分かる勉強会となるよう希望があった							○		
3.	親睦旅行の件 ・杉浦親睦活動委員長より経過報告 ・多くても52名となりバスは1台。日光CGが取れないので調整中							○		
4.	今期財務について ・会長より今期予想財務の報告 ・来年度以降を考えて夜間例会会費の見直し一般会計の整備を要する							○		
5.	アース&マザーへの協賛 ・会長より一万円の協賛について趣旨説明							○		
6.	理事会メンバーについて ・雑誌会報委員長のオブザーバー参加 ・参加は厭わないが委員長の意向も考慮									○
7.	その他 ・会長より3/24例会卓話を安武信吾氏にしたい旨説明 ・RILA参加者に3/11例会で報告及び感想を発表させたい ・ロータリーオリエンテーションの報告がロータリー情報委員長より報告 ・ロータリー財団委員長よりロータリー財団奨学生申し込み経緯の報告 ・会員1名の長期病欠が予想される(報告)							○ ○		

野田ロータリークラブ 例会・卓話予定表			
月 日	卓 話 ・ 行 事	月 日	卓 話 ・ 行 事
3月11日(月)	会員卓話 浅野泰泉会員 ゲストスピーカー NPO日本地質汚染審査機構 理事長 高嶋 洋様	4月 8日(月)	100%例会卓話(育もう郷土の誇り実行委員会)
3月18日(月)	会員卓話 梶原宏氏会員(私の好きな落語の世界)	4月15日(月)	卓話 古賀怜衣様(ロータリー財団元奨学生)
3月25日(月)	会員卓話 ゲスト映画「弁当の日」監督安武信吾様	4月22日(月)	会員卓話 菊地孝則会員
4月 1日(月)	会員卓話 栗林 徹会員	5月6日(月)	休日(振替休日)